

「山路ふみ子映画賞贈呈式」における新型コロナウイルス感染症等の感染予防ガイドライン

本ガイドラインは「山路ふみ子映画賞贈呈式」（以下「贈呈式」）の会場である「日本教育会館・一ツ橋ホール」が定めた「一ツ橋ホール利用のガイドライン」（以下「会場ガイドライン」）の「4. 主催者の役割」に従った運用細則として定めたものである。

<贈呈式本番前>

(1) 入場制限

「密」を生じさせないため、以下の対策を行う。

- ・入場者数（報道以外の関係者含む）を会場ガイドラインに示す378人以下とする。
- ・開場時間を開式の1時間30分前に設定する。
- ・入場整理券に感染予防に対する項目を詳細に記載する。
- ・受付は1階に設置し、日本教育会館内では3階までのエレベーター、階段、また入場待機列も含め「密」にならないよう係員の配置計画を行う。入場待機列が長くなり「密」になりそうな場合は会場側と開場時刻の繰り上げも考慮した事前打ち合わせをしておく。
- ・受賞者にも同行者は最少限にしてもらうようお願いする。

来場者においては「PCR等各検査を受けて陰性であっても、2週間以内に発熱があった方」

「2週間以内に濃厚接触者判定を受けた方」も念のため、ご来場をお控え頂く。

(2) 主催関係者・受賞者（同行者含む）・報道関係者・来場者の緊急連絡先の把握

感染の疑いや発症者が出た場合、保健所などの公的機関が実施する調査に協力できるよう各関係者に全員の氏名、所属、連絡先をとりまとめ、十分な管理を行う。全員に保健所などの要請により「体調管理チェックシート」（以下、チェックシート）内容を含む個人情報の提出がある旨を伝える。

- ・主催関係者（学生ボランティア含む）：全員の連絡先を把握しておく。
- ・受賞者（同行者含む）：受賞通知書と共に贈呈式当日の控室入場者全員のリストアップを依頼する。当日は「チェックシート」の提出がある旨を伝える。
- ・報道関係者：当日「チェックシート」に情報を記載してもらう旨を伝える。
- ・来場者：事前応募時に連絡先が明記されていないもの、明らかに架空のものは除外し抽選する。来場者の情報は最低一カ月間保管・管理する。

<贈呈式当日の対策>

(1) 関係者への感染予防策の周知・広報

掲示物、係員を配置し、①咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒 ②身体的距離の確保 ③発熱、体調不良の場合には入場をご遠慮いただく旨を周知徹底する。

(2) 来場者の入場時の対応

- ・「受付」では飛沫感染を防ぐためシートで対面感染予防を行う。
- ・受付に「検温器」「消毒液」を設置し、係員が一人一人確実に対応する。
- ・「入場整理券」は直接受け取らず、宛先記載部分を目視で本人確認した上、整理箱に投入してもらう。
- ・当日同行者名がいる場合は入場整理券に必ず同行者名を記載してもらう。
- ・37.5℃以上の発熱、極度の咳が認められた方のご入場はお断りする。
- ・会場との往復移動中は十分な感染対策をし、入場待機・受付時には前後の来場者との間に十分な距離を確保して頂く。

(3) ホール内の感染防止策

- ・ 座席は前後左右1席を開けた席位置とし、潰し席に来場者が座らないよう、係員による確認を行う。
- ・ 報道関係者には受付時にチェックシートの提出を依頼し、会場ではできるだけ間を空け、常時マスクを着用するよう協力依頼する。
- ・ 来場者には客席、ホワイエ（トイレ等含む）ではマスク着用の上、会場内での大声の会話、軽食を含む食事の摂取は控え頂く。

(4) 主催関係者、出演者の感染予防

- ・ 主催関係者（学生ボランティア含む）・受賞者（同行者含む）・報道関係者（同行スタッフ含む）には全員受付時にチェックシート（署名済み）を提出してもらう。
- ・ 受付だけでなく控室、舞台袖にも消毒液を設置する。
- ・ 全員マスクを着用する。受賞者においても控室や舞台袖ではマスクを着用する。
- ・ 各現場責任者は受賞者・スタッフの健康状態を把握しておく。

(5) 施設利用中に感染が疑われる者が発生した場合

- ・ 速やかに指定した部屋への隔離を行い、医療担当理事が責任をもって対応する。
- ・ 速やかにホール管理者に届け出ると共に、医療関係者や保健所へ連絡する。

(6) 来場者の退場時の対応

- ・ 係員による誘導を行う。
- ・ 「密」にならないようエリアごとの時間差での退場を行う。分散退場は事前にアナウンスしておく。

<贈呈式本番後>

- (1) 主催関係者・受賞者・報道関係者・来場者の名簿は最低1カ月間保管・管理する。
- (2) 贈呈式後2週間以内に新型コロナウイルス等感染症に感染したことが判明した場合は、速やかに保健所等に報告する。